特集2

FPGAを動かすための基礎知識

コンフィグレーション回路の設計法とトラブル・シューティング

SRAMベースのFPGA(Field Programmable Gate Array)は，電源を投入するだけでは動作しません．内部回路情報を書き込むコンフィグレーションが必要です．多くの場合は，専用回路をデータシート通りに構成していれば自動的に行われますが，設計者が手を出せない部分だけにトラブルの原因にもなっています．本特集では，コンフィグレーションの基礎を説明した後，リモート・コンフィグレーションなどの応用法や正常にコンフィグレーションできない場合の解決方法について解説します．